大事なものは、命です

平城小学校
五年
岩﨑
夏海

わたしは、「あの時すぐ逃げていれば」の話をみて、命がいちばん大切だということ、地震の後には津波がくることを確認することができました。

この話では、お母さんがお米を大切にするあまり、津波から逃げ遅れて命を落としてしまいました。たしかに食りょうは大事ですが、命のあとからどうにでもなります。しかし、命のかわりはありません。物より命の方が大切なのです。

わたしたちの住む愛南町にも南海地震がくると言われ続けています。地震がきたらわたしは、家族や近所の人に「逃げないと津波にまき込まれてしまいます」と、知らせたいです。それでも、みんながにげない場合は、わたしがいちばん先になって

よ。」

高い所、高い所を目指して津波からどんどんと逃げる姿を見せたいと思います。そうすることによって、みんなの命が救われることを願っています。

20 × 20